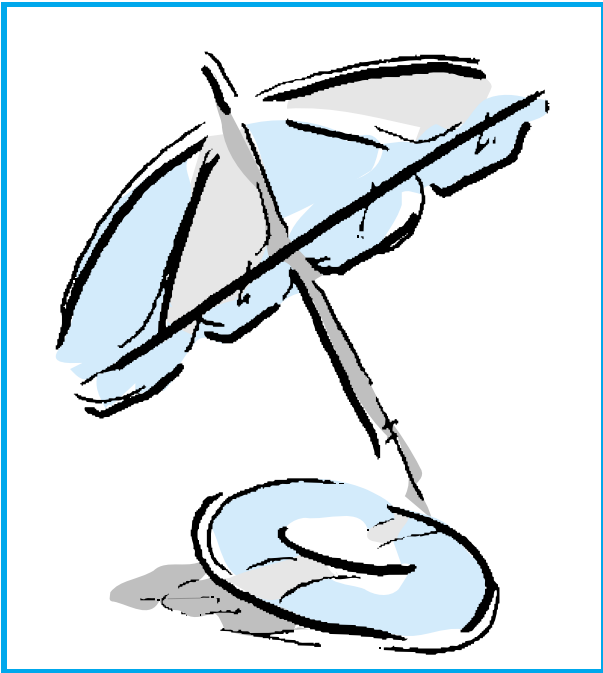


いしかわ 県薬レポート

2003、7 49

編集発行
金沢市広岡町イ25 10
(石川県薬事センター内)
社団法人 石川県薬剤師会
会長 徳久 和夫

目 次



- 第89回総会..... 2
- 第90回総会..... 2
- 会長表彰..... 2
- 平成14年度北陸調剤
情報セミナー..... 4
- 薬局薬剤師リフレッシュ講座..... 5
- 院瀬見副会長
「日本病院薬剤師会賞」受賞..... 8
- 石川県病院薬剤師会会長を
お引き受けして..... 8
- 北陸信越薬剤師大会・
学術大会予告..... 9
- お薦めホームページの紹介.....10

◎◎ 第 89 回 総 会 ◎◎

平成15年3月30日(日)、労済会館において第89回総会が開催され、第94回日本薬剤師会通常代議員会報告、次いで平成15年度

事業計画案並びに平成15年度歳入歳出予算案が賛成多数で可決した。

◎◎ 第 90 回 総 会 ◎◎

平成15年5月25日(日)、金沢都ホテルにおいて第90回総会が開催された。冒頭、木野善夫、村田健二、伊藤正保の3名の先生方のご冥福を祈り黙祷を捧げた。徳久会長の方の挨拶に続き、沓掛哲男参議院議員、大井勲夫石川県健康福祉部長の来賓祝辞があり、議事に入った。平成14年度会務並びに事業報告、歳入歳出決算報告が賛成多数で承認された。

懇親会の席上、徳久会長から達磨一明、長町仁子の両氏に日薬有功賞が伝達され、

また勲五等瑞宝章を受章された天野勲氏の功績が称えられた。



第 90 回 総 会

会 長 表 彰

第90回総会に引き続き、同会場で永年にわたり石川県薬剤師会会員のため、また会の発展に多大な尽力並びに協力いただいた9名の方に対し、会長から表彰状と記念品が贈られ、その功績を称えた。また、受賞者を代表して日吉南賀子氏から御礼の挨拶があった。



会長表彰受章者の皆さん

平成15年度石川県薬剤師会会長表彰受賞者

- 日吉 南賀子 (開局薬剤師部会)
- 松金 誠喜 (病院薬剤師会)
- 村本 隆 (県庁勤務薬剤師部会)
- 安江 實 (県庁勤務薬剤師部会)
- 池田 正行 (加賀江沼支部)
- 英 健一 (金沢支部)
- 櫻井 成克 (金沢支部)
- 河崎 正一 (羽咋支部)
- 干場 実 (珠洲支部)



会長表彰



懇親会

平成14年度 北陸調剤情報セミナー 医薬品情報の収集と評価

日時：平成15年3月2日(日) 13:00～17:20

会場：金沢都ホテル地下2F セミナーホール

基調講演 「医薬品情報の信頼性」 統計学的評価

講師：東京理科大学工学部経営工学科助教授 浜田知久馬 先生

シンポジウム 「医療現場における医薬品情報の収集と評価」

- ・病院 (総論) 講師：福井医科大学医学部附属病院薬剤部主任 後藤 伸之 先生
- ・病院 (各論) 講師：信州大学医学部附属病院薬剤部副部長 旭 満里子 先生
- ・地域薬局 講師：水野薬局(東京都文京区)シニア薬剤師 安部 好弘 先生

平成14年度北陸調剤情報セミナーが北陸3県薬剤師会並びに病院薬剤師会等の共催で、3月2日(日)金沢都ホテルで開催されました。

今回も多数の方々の参加を得て、「医薬品情報の収集と評価」をテーマに4名の講師の有意義な講演がなされました。



浜田知久馬 先生

まず、基調講演で東京理科大学工学部の浜田知久馬先生が、医薬品情報の信頼性についてその統計学的評価の重要性を強調され、玉石混淆の医薬品情報を統計学的な考え方に則って評価することが、EBM(Evidence Based Medicine)の実現に必須であり、様々な事例を通じて統計学の果たす役割を解説されました。

福井医科大学の後藤伸之先生は、病院という医療現場における総論として、臨床研究や薬剤疫学などの成果として適正使用に結びつけるエビデンスをつくる、その成果



後藤伸之 先生

を収集、評価し社会が必要とする薬のエビデンスを行政や企業につたえる、そして、エビデンスを個々の患者の服薬指導につかうことでエビデンスを実践するのが病院薬剤師の役割である強調されました。

信州大学の旭満里子先生は、病院における各論として、入院患者の薬剤管理指導における能動的医薬品情報提供に焦点を絞り、



旭 満里子 先生

POS(Problem Oriented System)の考え方に基づいた能動的DI提供の必要性、そのためのProblem Listデータベースを構築するための情報収集、さらにそのデータベースを活用した情報の評価を、具体的な事例を多数あげて解説されました。そしてなにより、臨床において遭遇した情報を多くの施設で収集し、共有化することの必要性を強調さ



安部好弘先生

れました。

水野薬局の安部好弘先生は、開局薬剤師の立場から、地域における薬の安定した供給と安全管理を任されているのが地域薬局であるとして、薬剤師は、消費者に大量の情報が伝わるほど、薬学的な知識と経験に基づいた適正使用に必要な情報を提供することが求められ、この役割を果たすには、医薬品情報の特性を理解、適切に運用していくことが必要であ

り、そのためには、薬剤師がどのように医薬品情報と付き合えば良いかを考察された。

総合討論は、講師の先生方に座長の先生方も加わり、北陸大学の河島進先生が、医薬品情報はあくまで患者のために使われるものであり、情報が一元化され完備される中、あえて薬剤師が情報提供をすべき理由は、また提供した情報が活かされるためにはどうすべきなのか医療人として考えさせられ、薬学教育の立場からも今後の課題であると結ばれました。

金沢社会保険病院 中野 修 記

薬局薬剤師リフレッシュ講座

～調剤過誤防止が主な目的～

石川県薬剤師会は昨年9月から薬局薬剤師を対象に「リフレッシュ講座」を開講した。

同講座は平成15年度、16年度も引き続き開講し、3年間に全ての単位(72単位)を取得すれば証明書が発行される。

薬剤師の資質を高め、多様化する患者ニーズに十分対応できるようにするのが狙い。カリキュラムの項目は「医療制度」「薬剤師倫理」「薬事関連法規制度」「薬剤学」「薬物相互作用」など基礎的なものから「服薬指導」「在宅医療」「患者接遇」「医薬情報処理」「調剤過誤」など実践的なものまで幅広く体系だてて薬剤師業務に必要な知識を得ることができる。この講座では臨床現場の医師が講師となって「循環器」「泌尿器」など10種の重要疾患について疾病の概要や

薬物治療の考え方を解説する。又薬理学、薬剤学、相互作用などについては、病院薬剤師や薬局薬剤師らが講師になる。薬剤師が免許取得後も生涯を通じて研修等により自己研鑽に努力しなければならないことは、医療の中で薬剤師としての独占業務を任されている以上当然の義務といえよう。

学問技術の進歩と医療環境、疾病構造、患者意識の変化が急速だから、どんなに素質のある経験をつんだ薬剤師でもじっとしていたのでは相対的に遅れてくる。

それを防ぐために常時自己学習に励まなければならないということである。

7月後半と8月2回の内容は次の通り。

7月 在宅医療、保険業務

8月 患者接遇、最近の医療訴訟にみる薬剤師の責任、保健機能性食品、医療制度、医療分業についての講座が予定されている。

北陸薬局 三浦 智子 記

石川県「薬局薬剤師リフレッシュ講座」

平成15年7～8月の講座予定

A(能登)会場

7月	日時	7月6日(日) 午後1時00分～5時00分
	場所	羽咋シルバー・人材センター(TEL 0767-22-2700)
	講座 講師	疾病と薬物治療(消化器系) 4時間 金沢大学医学部附属病院 消化器内科 講師 岡田 俊英先生
7月	日時	7月18日(金) 午後7時30分～9時30分
	場所	七尾サンライフ・プラザ(TEL 0767-53-1160)
	講座 講師	在宅医療(1時間) 7:30～8:30 金沢市福祉保健部健康推進局西福祉保健センター次長 表 美千恵先生
7月	講座	保険業務(1時間) 8:30～9:30
	講師	石川県薬剤師会 開局部会 能村 明文先生
	7月	8月10日(日) 午後1時00分～5時00分
8月	日時	8月10日(日) 午後1時00分～5時00分
	場所	穴水ふれあい文化センター(TEL 0768-52-3401)
	講座 講師	患者接遇(1時間) 1:00～2:00 資生堂シニアビューティー ディレクター 神保 洋子先生
8月	講座	「最近の医療訴訟にみる薬剤師の責任」(仮題) 2時間 2:00～4:00
	講師	北陸大学法学部教授 三浦 泉先生
	8月	講座
講師		石川県薬剤師会 薬事センター長 古本 義明先生
8月		8月22日(金) 午後7時30分～9時30分
8月	日時	8月22日(金) 午後7時30分～9時30分
	場所	七尾サンライフ・プラザ(TEL 0767-53-1160)
	講座 講師	医療制度・医薬分業(2時間) 石川県薬剤師会 会長 徳久 和夫先生

B(石川中央)会場

7月	日時	7月9日(水) 午後8時00分～11時00分
	場所	明祥株式会社(TEL 076-266-4141)
	講座 講師	疾病と薬物治療(消化器系) 2時間 8:00～10:00 金沢大学医学部附属病院 消化器内科 講師 岡田 俊英先生
7月	講座	医薬分業(1時間) 10:00～11:00
	講師	石川県薬剤師会 会長 徳久 和夫先生
	7月	日時
場所		明祥株式会社(TEL 076-266-4141)
講座 講師		疾病と薬物治療(消化器系) 2時間 8:00～10:00 金沢大学医学部附属病院 消化器内科 講師 岡田 俊英先生
7月	講座	保健機能食品(1時間) 10:00～11:00
	講師	石川県薬剤師会 薬事センター長 古本 義明先生

8月	日時	8月6日(水) 午後8時00分～11時00分
	場所	明祥株式会社 (TEL 076-266-4141)
	講座	患者接遇 (1時間) (PM 8:00～9:00)
	講師	資生堂シニアビューティアー ディレクター 神保 洋子先生
講座	「最近の医療訴訟にみる薬剤師の責任」(仮題) (2時間) (PM 9:00～11:00)	
講師	北陸大学法学部教授 三浦 泉先生	
8月	日時	8月21日(木) 午後8時00分～11時00分
	場所	明祥株式会社 (TEL 076-266-4141)
	講座	在宅医療 (1時間) (PM 8:00～9:00)
	講師	金沢市福祉保健部健康推進局西福祉保健センター次長 表 美千恵先生
講座	医薬情報処理・医薬情報提供 (2時間) (PM 9:00～11:00)	
講師	北陸大学薬学部 病院薬学 助教授 大嶋 耐之先生	

C (南加賀) 会場

7月	日時	7月6日(日) 午前9時30分～午後0時30分
	場所	小松市民センター (TEL 0761-24-6101)
	講座	医薬分業 (1時間) (AM 9:30～10:30)
	講師	石川県薬剤師会 会長 徳久 和夫先生
講座	疾病と薬物治療 (代謝内分泌系) (2時間) (AM 10:30～PM 0:30)	
講師	金沢大学医学部附属病院 内分泌代謝内科 桜井 勝先生	
7月	日時	7月13日(日) 午前9時30分～午後0時30分
	場所	小松市民センター (TEL 0761-24-6101)
	講座	薬歴管理 (1時間) (AM 9:30～10:30)
	講師	石川県薬剤師会 常任理事 中村 正人先生
講座	疾病と薬物治療 (代謝内分泌系) (2時間) (AM 10:30～PM 0:30)	
講師	金沢大学医学部附属病院 内分泌代謝内科 桜井 勝先生	
8月	日時	8月3日(日) 午前9時30分～午後0時30分
	場所	加賀市民会館 (TEL)
	講座	在宅医療 (1時間) (AM 9:30～10:30)
	講師	金沢市福祉保健部健康推進局西福祉保健センター次長 表 美千恵先生
講座	医薬情報処理・医薬情報提供 (2時間) (AM 10:30～PM 0:30)	
講師	北陸大学薬学部 病院薬学 助教授 大嶋 耐之先生	
8月	日時	8月24日(日) 午前9時30分～午後0時30分
	場所	加賀市民会館 (TEL)
	講座	患者接遇 (1時間) (AM 9:30～10:30)
	講師	資生堂シニアビューティアー ディレクター 神保 洋子先生
講座	「最近の医療訴訟にみる薬剤師の責任」(2時間) (AM 10:30～PM 0:30)	
講師	北陸大学法学部教授 三浦 泉先生	

院瀬見副会長 「日本病院薬剤師会賞」 受賞

金沢大学医学部附属病院
宮本謙一

院瀬見義弘先生におかれましては、さる平成15年6月7日日本病院薬剤師会総会において、永年にわたる病院薬剤師としての社会・医療へのご貢献に対して栄えある日本病院薬剤師会賞を受けられました。

院瀬見義弘先生は、昭和33年に金沢大学医学部附属病院薬剤部に入局後、公立松任中央病院薬局長、社会保険鳴和総合病院薬剤部長を経て、現在、石川県済生会金沢病院薬剤部長をお勤めであり、病院薬剤師として常に第一線でご活躍され、かつその大半を薬剤部長としての重責を果たされております。さらに、石川県病院薬剤師会においては、理事・副会長として歴代の会長を支えてこられ、平成4年から11年間、本県



病院薬剤師会会長として本会の発展に多大なご尽力を戴きました。また日本病院薬剤師会においても代議員をはじめ、主に中小病院委員会委員として貢献されてこられました。さらに、平成3年から3年間、全国社会保険病院薬剤師会会長もお務めであります。このように院瀬見先生は病院薬剤師一筋に歩まれて来られたわけで、これら一連のご業績が高く評価され、今般の病院薬剤師として最高の栄誉に結実したものであり、ご本人はもとより、私ども石川県病院薬剤師会会員の全てにとっても大変栄誉なことであり、大変喜ばしい次第です。

石川県病院薬剤師会会長を お引き受けして

金沢大学医学部附属病院
宮本謙一

まず、前会長 院瀬見義弘先生の11年間に渡る本県病薬会長職のご労苦に対して深甚なる敬意を表し、ご苦勞様でしたと申し上げます。県病薬はもとより日病薬に対して成されたご功績は数え上げるまでもありませんが、なにより我々後進の物心両面に

おける支えでもありました。厚く感謝申し上げます。なお、これらの先生のご功績に対して平成15年度日本病院薬剤師会賞が授与されたことをご報告いたします。

この偉大な先生から病院薬剤部での経験の極めて短い私が会長をお引き受けするにあたっては、正直なところ躊躇し、かなりの決断を要しました。本県病薬には多士済々の豊富な人材があり、多くの病院経験を持つ諸先輩がいらっしゃいます。しかし、

中野先生、上田先生、向先生のお三方が副会長としていろいろ助言してくださる、との心強いお言葉もあって決断した次第です。石川県薬剤師会の先生方におかれましては、この新米の病薬会長に倍旧のご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

さて、平成8年、医療法および薬剤師関連法規の改正によって、“薬剤師は医療チームの一員”として“医薬品情報の提供”を中心に医療に貢献しなければならない責務が明確になりました。即ち、薬剤師は患

者様を中心とするチーム医療の中で医薬品に関わることの全てに責任を持って関わっていかねばならないのです。そのために病院 - 開局の連携の絆を一層強化し、さらに薬学部を引き込んだ薬 - 薬 - 薬（トリ薬）連携を構築して国民の期待に応える薬剤師を育成し、良質の薬剤業務を提供する努力をしていきたいと思っております。石川県薬剤師会の先生方からのご指導・ご鞭撻を切にお願いして、石川県病院薬剤師会会長就任のご挨拶と致します。

北陸信越薬剤師大会、 同学術大会 今秋金沢市で開催されます

第43回北陸信越薬剤師大会、ならびに第36回北陸信越薬剤師学術大会は、本年11月8日(土)および9日(日)の両日にわたって金沢都ホテル(JR金沢駅東口)を会場に開催されます。徳久和夫組織委員長を中心に各職能部会から、副委員長に院瀬見義弘先生、河村 健先生、綿谷小作先生、向孝次先生及び各組織委員の先生方により準備が進められています。今年の大会のローガンは、「医療と福祉に貢献する薬剤師」、サブタイトル - 確かな未来のために - と決定されました。真に我々の職能にとって時宜を得たものであり、これからの薬剤師の指針となると思われます。

1日目は薬剤師大会の後、記念講演では、

石川県立歴史博物館学芸専門員長谷川孝則先生が「制度改革と生きのこり - 加賀百万石の知恵と技術 - 」と題して講演されます。徳久和夫会長が金沢市マークと“利家とまつ”マークを本大会にも採用されていますように、加賀の興味深い話題に高い関心が寄せられています。この後、懇親会になります。

2日目の学術大会では、各職能部会から研究発表の募集が行われ、医療薬学分科会、地域医療分科会、公衆衛生分科会に分かれて、研究発表が予定されています。石川県からも各職能部会を中心に、日頃の研究成果の発表が期待されるところです。演題申し込みの期日は8月9日(土)、講演要旨の提出期限は9月6日(土)です。

募集要綱の表紙(次頁写真)には風格のある金沢城が配されています。この写真は、県立中央病院の森 正昭先生のお世話により、石川県のご好意によりご提供していた

だきました。今年の金沢大会には、会員の皆様をはじめ、北陸信越並びに県内の薬剤師の多数のご参加を得て、有意義な大会となることが期待されます。

大会参加、研究発表等の申し込みの詳細については、

〒920-0032 金沢市広岡町イ25 - 10

(社)石川県薬剤師会内

第43回北陸信越薬剤師大会事務局

TEL(076)231-6634 FAX(076)223-1520

へ照会して下さい。

会長室付 坂元 倫子 記

第43回北陸信越薬剤師大会
第36回北陸信越薬剤師学術大会

開 催 要 項

医療と福祉に貢献する薬剤師

— 確かな未来のために —

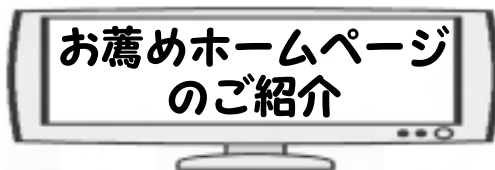


07640100 (会報)

会 期…平成15年11月8日(土)～9日(日)
会 場…金沢市 金沢都ホテル(JR金沢駅前)



北陸信越薬剤師会
石川県薬剤師会



(A) [Google]をキーワード検索エンジンからカテゴリー検索エンジンに
どんなHPを閲覧していてもそのページの左上にアドレスバーがあります。そこには閲覧しているページのhttp://～のようなアドレスが表示されています。その所をクリックし反転(濃紺色)させBSキーで除去しグーグルと入力します。

Googleを呼び出しその検索窓にウェブディレクトリと入れGoogle検索窓を1回押す

ウェブディレクトリと出てきたページ目次の内最初のものを選びクリック

する

次いで健康に関するページが出てきて 介護(31)団体(132)美容(290)体調・症例(462)女性(35)健康法(53)専門分野(68)薬品(46)などと各分野別の項目があらわれます。括弧の数は変動的で推薦するHPも恣意的に選んでます。

このなかで薬品(46)をクリックしますと46個の薬に関し一読に値するホームページの一覧表が出てきます。括弧のなかの数字は各分野に関連あるHPの数です。このやり方はGoogleはもともとキーワード検索エンジンであるのをyahooのようにカテゴリー検索エンジンに転用する方法です。

この場合「ウェブディレクトリ」が

重要なキーワードとなります。

- (B) まずGoogleを呼び出し、最初のページの検索窓にキーワードを入れて検索を始めるのが普通のGoogleの使い方ですが、最初のページの上の所にウェブ、イメージ、グループ、ディレクトリとあり、ウェブだけが濃紺です。この右端のディレクトリをクリックしますと14個のカテゴリに分かれたカテゴリ検索エンジンに転用出来ます。この14個のカテゴリの内に健康がありこれをクリックして自分の探している対象にせまって行くわけです。(B)の方法が一番簡単です。

Googleの検索窓に自分の知っているHPの名前を日本語で入力すると半角英数でアドレス(URL)をいれる面倒な作業を省けて目的とするHPにもアクセスできます。

Googleを使い日本語入力で下記のHPにアクセスできます。

入力した日本語がキーワードとなり検索されるわけです。以下のHP名もキーワードとなり検索の結果一個のHPと対応しています。稀にキーワードにより複数のHPになることもあります。以下のHPは名前をキーワードとして使用可能です。

念のためHPの名前の真下に英数半角のURLをいれてあります。

日本語HP名の前に 印は複数のHPがですが()内のキーワードを利用して下さい。

日本薬剤師会

<http://www.nichiyaku.or.jp/>

会員のページには現場薬剤師に役立つ情報で一杯、新規薬価収載品目、新薬情報、DSU他

日本医師会

<http://www.med.or.jp/>

病気の話や、臨床検査等

厚生労働省

<http://www.mhlw.go.jp/>

新聞報道よりも詳しい最近の情報が掲載されています

薬系大学のリンク集

<http://www.aimnet.ne.jp/medical/link.htm#daigaku>

国公立、私立薬学部のHPIにアクセス可能です。

おくすり110番

<http://www.jah.ne.jp/~kako/>

おくすりQ&A、副作用、併用禁忌の一覧表他
おくすりの情報集

薬のメモ

<http://home.highway.ne.jp/geki/homepage/>

医療用医薬品の薬効分類ごとに作用機序の解説
Q&Aなど臨床薬剤師のための基礎知識もあり
Pharm Assistというサイトもある

インターネット医薬品情報室

<http://www.katch.ne.jp/~atsuro/>

幅広い領域にリンクされています

医薬品情報提供システム

<http://www.pharmasys.gr.jp/>

厚生労働省の外郭団体医薬品機構が管理し薬価収載されている全ての医薬品についての添付文書情報など、緊急安全性情報の記載もある

抗菌薬インターネットブック

<http://www.aceart.co.jp/antibiotics/caz.html>
薬剤名、一般名 菌 臓器移行など検索可能

無駄口薬理学

<http://www.sam.hi-ho.ne.jp/tootake/index2.htm>
やさしい薬理学、毒舌薬理学、薬剤ニュース等
にもアクセス可能です

日本RAD-AR協議会

<http://www.rad-ar.or.jp/>
パスワード必要 くすりのしおりがある

日本製薬工業協会

<http://www.jpma.or.jp/>
くすり便利帳など

熊本大学医薬品情報

<http://mid.cc.kumamoto-u.ac.jp/>
医薬品情報提供システムと同じく医薬品情報提供

日本大衆薬工業協会

<http://www.jsmi.jp/>
大衆薬に関する情報

医薬品情報をゲット

<http://www.biwa.ne.jp/~kozai/>
医薬関連トピックス、その他情報の探し方など

すきすき目薬

<http://www2f.biglobe.ne.jp/~comet/megusuri/>
目薬関係の情報が 있습니다

おくすりの評価法

<http://www.okusuri.org/>
医薬品評価委員会が公開した治験情報など

DoorToMedicine

<http://www.biwa.ne.jp/~fumika/>
医薬関連の実用リンク集

循環器病情報サービス

<http://vc.go.jp/cvdinfo/cvdinfo.htm>

medks.com

<http://www.medks.com/top/index.html>
三星堂の医薬品情報のHP医療関係者も利用する
但しパスワードが必要です

難病情報センター

<http://www.nanbyou.or.jp/>

国立癌センター

<http://www.ncc.go.jp/jp/>

リウマチ情報センター

<http://www.rheuma-net.or.jp/rheuma/>

日本中毒情報センター

<http://www.akita.med.or.jp/dokubutu.html>

くらしの安全情報サイト

<http://www.anzen.metro.tokyo.jp/>

医薬情報センター（沿革と実績）

<http://www.senshu.co.jp/di/iyaku.html>
服薬指導情報を利用できます

服薬指導マニュアル

<http://home3.highway.ne.jp/nitop/yk/huku0.htm>
高血圧症、消化性潰瘍、気管支喘息、痛風などのくすり

服薬指導データベース 現在薬効分類は循環器・糖尿病用のみですが薬効分類は増やす予定	埼玉成恵会病院 http://www.seikei.or.jp/ 薬局のサイトに薬の副作用についての記事がある
山梨大学医学部付属病院薬剤部 http://www.yamanashi-med.ac.jp/~d0pharma/home.html 服薬指導データベースは山梨大薬剤部の一サイト	薬辞苑 http://www.yakujien.com/
栃木県病院薬剤師会リンク集 北里大学医療衛生学部 http://www.ahs.kitasato-u.ac.jp/ 服薬指導に役立つ情報があります	d-inf http://d-inf.org/ 副作用関係の情報がおい
佐賀医科大学医学部附属病院薬剤部 http://www.yakuzai.saga-med.ac.jp/ 医薬品・医療用具安全性情報の索引が可能	やくやく大辞典 http://medicine.cug.net/ 医薬品の辞典
くすりと副作用 http://www.banyu.co.jp/health/fukusayou/side_body.html 用語集他 万有製薬のHPの一サイトです	ゆりかごのある部屋 http://www.asahi-net.or.jp/~dp8t-wtnb/ 一般向きの医薬品情報、子供アレルギー情報など
副作用 部位別 http://www.okusuri110.com/fukusayo/fukusayo_00top.html お薬110番の一サイト	くすり屋さんで売っている薬 http://members8.cool.ne.jp/~superkid/ 大衆薬データベースなど
厚生省医薬品副作用情報 http://www.so-net.ne.jp/medipro/fukusayou/ No154 (1999 .4) ~ No118 (1993 .1)	治験ナビ http://www.chikennavi.net/ 治験患者向け情報
医薬品安全性情報 No157 (1999 .11) ~ No110 (1991 .9) 医薬品情報提供システムにリンクしています	治験情報ネット http://www.chiken-net.com/ 治験情報
鹿児島大学医学部付属病院 薬剤部 http://www.kufm.kagoshima-u.ac.jp/~pharm/di/index.html No141 ~ No85	診療報酬情報提供サービス http://202.214.127.148/guest/plsql/IndexP 医療保険請求に関わる告示など

朝顔診療所

<http://omanta.com/>

e-メールでキーワード他入手出来ます。薬の情報
の他疾患の情報も豊富にあります。

副作用あれこれ

<http://www.naoru.com/hukusayou.htm>

医薬品に伴う副作用の説明があります。

SRASの情報源

<http://www.geocities.co.jp/Technopolis/7663/>

健康の維持と増進を話題にする談話室

<http://www2.famille.ne.jp/~horio/>

栄養、環境、疾患等に関する情報があります。

メディックweb医薬辞典

<http://www.mediclick.co.jp/>

病名や今飲んでいる薬の辞典です。

B級情報ファイル

<http://www2b.biglobe.ne.jp/~kondo/>

神経難病の情報

消毒薬テキスト

http://www.yoshida-pharm.com/text/03/3_1_2_1.html

healthクリック

<http://www.health.ne.jp/>

健康に関すること何でも

産業医科大学神経内科学講座

http://www.uoeh-u.ac.jp/kouza/sinnai/toppage_j.html

生涯教育コーナー

<http://www.apha.jp/top/yakuen/samba.htm>

感染症情報センター

<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

ウイルスの基礎知識（病気または生物）

<http://homepage1.nifty.com/tamako/5-3virus.html>

薬事センター 亀田 実 記

原稿を募集しています。

「県薬レポート」では、この小冊子をより一層愛されるものになりたいと願って、読者の皆様から広く原稿を募集しています。

テーマや内容、体裁は自由です。評論、随筆、意見、提言、店頭体験談、趣味の話、詩、短歌、俳句、川柳、或はマンガ、イラスト、カット、写真等々何んでも結構です。ただしあまり長いものは御遠慮の程を……。

用紙や宛先等は下記のとおりです。

用紙：400字詰原稿用紙又はハガキ

※切：特に設けていませんいつでもどうぞ

宛先：金沢市広岡町イ25 - 10

社団法人石川県薬剤師会内

その阿：採否は編集係におまかせ下さい。なお、いただいた原稿はお返してきませんのでご了承下さい。

「県薬レポート」編集係

編集員：亀田 実、五味ひろ子、茶谷美年子、
中野 修、三浦 智子、森 正昭

石川県薬剤師会ホームページのアドレス

<http://www2.icnet.or.jp/~isiyaku/>

eメール・アドレス

isiyaku@hokuwa.co.jp